

香川県のデジタル化の現状と課題、来
るべき未来と本県が目指すべき 将来の
イメージ等について

高松大学・高松短期大学学長
佃 昌道

本県の特性（地勢） 美しい自然と温暖な気候

- 日本で初めて国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の中心に位置し、海面には多数の島が点在 ⇒ 秀丽明媚（世界の宝石）
- 南部には讃岐山脈、北部には讃岐平野 ⇒ 災害が少ない
- 面積は全国で最も小さく（1,876.73平方km）、平地と山地はおよそ相半ばしています。 ⇒ コンパクト
- 気候は、四季を通じて温暖少雨で、気候温和、明るい瀬戸内海の気候に恵まれています。 ⇒ 暮らしやすい

本県の特長（歴史・人物）

- 讃岐国山田村に屋島城を築く 天智天皇6年（667年）
- 鑑真が屋島寺開祖 天平勝宝6年（754年）
- 空海入唐 延暦23年（804年）
- 満濃池の再築 **弘仁12年（821年）**
- 菅原道真 讃岐守 仁和2年（886）
- 崇徳上皇 讃岐に流される 保元元年（**1156年**）
- 屋島の戦い 元暦2年/寿永4年（1195年）
- 生駒親正 讃岐入封 文禄4年（1595年）
- 山崎家治 丸亀藩 入府 寛永18年（1641年）
- 松平頼重 高松藩 入封 寛永19年（1642年）

本県の特性（その他）

- 知的水準

- 空海をはじめ、大師が5人

- 弘法大師（空海 921） 真言宗開祖 天台山宗第五代座主 弘法大師の一族
- 智証大師（円珍 927） 真言宗開祖 醍醐寺開祖 弘法大師の一族
- 理源大師（聖宝 1707） 真言宗開祖 醍醐寺開祖 弘法大師の一族
- 道興大師（実恵 1774） 真言宗開祖 醍醐寺開祖 弘法大師の一族
- 法光大師（真雅 1828） 真言宗開祖 醍醐寺開祖 弘法大師の弟

- ため池と灌漑整備、新田開発

- 生駒時代 西嶋八兵衛により 満濃池の修復、香東川に付け替え、屋島新田開発

- 讃岐三白

- 塩、綿、砂糖

- 讃岐漆器

- 玉楮 象谷

- 香川県工芸学校 創立 明治31年（1898）年 納富介次郎

- 香川県博物館（現在の商工奨励館） 明治31年（1899）年 徳久恒範知事

- 商店街のアーケード

- キャプテンシステムの導入

- 香川ネットの整備

- **G7香川・高松情報通信大臣会合 平成28年（2016年）**

本県のデジタル化の現状と課題

ある程度上位

→ バランス

	面積	国宝・重文	老舗	第一次産業	第2次産業	第3次産業	電力消費量	不動産業界年収	IT年収	SNSサービス	ネット通販	Facebookユーザ	オンラインゲーム	合計
香川県	1,876.53	21	12	19	23	27	5	3	9	16	12	18	17	182
東京都	2,187.65	1	37	47	46	1	44	1	1	1	1	1	3	184
大阪府	1,898.47	5	39	46	38	8	26	2	8	4	8	2	4	190
滋賀県	4,017.36	4	18	24	2	46	17	18	14	11	10	16	17	197
神奈川県	2,415.86	8	46	45	41	7	43	5	2	1	2	4	21	225
奈良県	3,691.09	3	23	42	34	11	18	25	13	6	15	33	43	266
埼玉県	3,798.08	30	44	43	19	23	41	8	12	5	6	25	11	267
佐賀県	2,439.65	41	9	21	20	28	7	24	42	21	47	32	32	324
鳥取県	3,507.28	39	11	7	31	18	10	43	22	41	44	46	44	356
沖縄県	2,276.15	46	47	36	47	2	42	38	47	7	23	3	36	374

↑

面積の小さい都道府県の各ランキングをいくつか抽出してみた。
IT年収は、9位と高い、デジタル関連項目も、平均して高い。

来るべき未来

- DXは今が大切 そこに、未来があるのでは
- とりあえず、2030年を設定
- その時のデジタル化を予想してどうするのか
- 何ができるようになるか
- それが、なにの役にたつのか
- 今とどう違うのか
- 本当に、県民が豊かな生活がおくれるようになるのか

本県が目指すべき 将来のイメージ

- 地勢の強味を生かし、様々なデジタル事業推進の実験（パイロット的）場所とする。（データセンターやシステムサポートセンターなど既存の事業も推進）
- 歴史的にも、人材が育成に適していると考えるので、地勢を生かしたデジタル人材育成に力を入れる。
- 地勢を生かし、様々な知的人の交流を深め、知の集まる県づくりを行う（うどん県それだけじゃない、アート県、デジタル県）
- **アナログとデジタルで豊かな暮らしを支える**